

This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record

## BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
Image Problem Mailbox.

PARTIAL TRANSLATION EXTRACT OF JAPANESE UNEXAMINED UTILITY  
MODEL PUBLICATION (KOKAI) NO. 60-116906

Title of the Invention Device: Compact Container for  
Cosmetics

Publication Date: August 7, 1985

Utility Model Application No.: 59-4802

Filing Date: January 18, 1984

Applicant: Shiseido Co. Ltd.

A compact container comprising a container body 1 having opening 2, a lid 3, and a hinge 4 is disclosed. The lid 3 is connected pivotable to the container body 1 by means of the hinge 4 to be opened and closed. The container body 1 and the lid 3 is formed from styrene resin or aluminum etc., and the hinge 4 can be formed from nylon or polypropylene resin. The hinge 4 is connected to the container body 1 and the lid 3 by means of adhesion, heating, welding or fitting.

Reference Numerals

- 1 container body
- 2 opening
- 3 lid
- 4 hinge

## ⑫ 公開実用新案公報 (U) 昭60-116906

⑬ Int. Cl.

A 45 D 33/00  
B 65 D 6/18

識別記号

府内整理番号

6671-3B  
6576-3E

⑬ 公開 昭和60年(1985)8月7日

審査請求 未請求 (全1頁)

⑭ 考案の名称 化粧用コンパクト容器

⑮ 実 頼 昭59-4802

⑯ 出 頼 昭59(1984)1月18日

⑰ 考案者 浜口正巳 大阪市東淀川区小松2-17-45 大阪資生堂株式会社内

⑱ 出願人 株式会社 資生堂 東京都中央区銀座7丁目5番5号

⑲ 代理人 弁理士 清水修

## ⑳ 実用新案登録請求の範囲

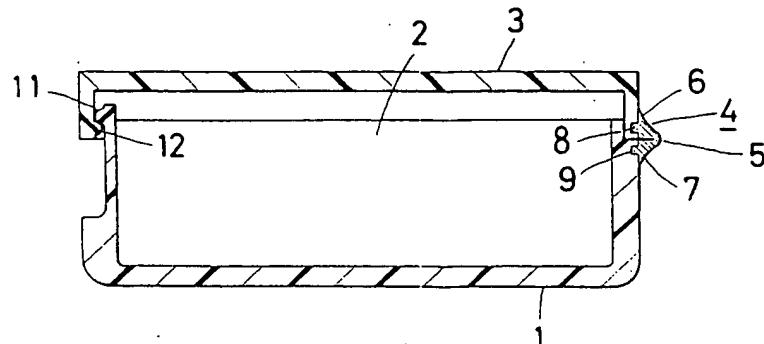
容器本体と、この容器本体の開口部を被覆する蓋体とを、別個に成型するとともにこの蓋体と容器本体とを、折曲可能なヒンジ効果を有する開閉部材により開閉可能に接続したことを特徴とする化粧用コンパクト容器。

## 図面の簡単な説明

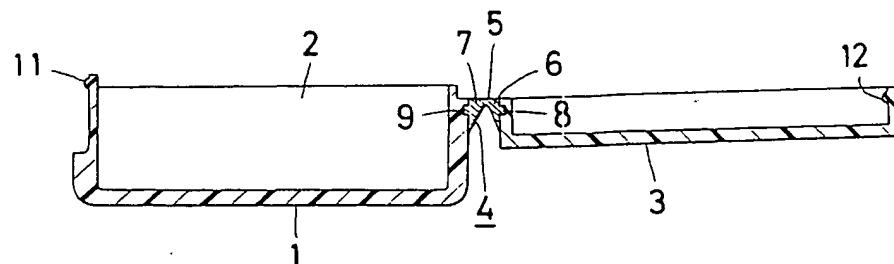
図面は本考案の一実施例を示すもので、第1図は断面図、第2図は蓋体の開放状態を示す断面図である。

1…容器本体、2…開口部、3…蓋体、4…開閉部材。

第1図



第2図



⑨日本国特許庁 (JP)

⑩実用新案出願公開

⑪公開実用新案公報 (U) 昭60-116906

⑫Int.Cl.

A 45 D 33/00  
B 65 D 6/18

識別記号

厅内整理番号  
6671-3B  
6576-3E

⑬公開 昭和60年(1985)8月7日

審査請求 未請求 (全頁)

⑭考案の名称 化粧用コンパクト容器

⑮実 領 昭59-4802

⑯出 領 昭59(1984)1月18日

⑰考 案 者 浜 口 正 巳 大阪市東淀川区小松2-17-45 大阪資生堂株式会社内  
⑱出 領 人 株 式 会 社 資 生 堂 東京都中央区銀座7丁目5番5号  
⑲代 理 人 弁理士 清 水 修

明細書

1. 考案の名称

化粧用コンパクト容器

2. 実用新案登録請求の範囲

容器本体と、この容器本体の開口部を被覆する蓋体とを、別個に成型するとともにこの蓋体と容器本体とを、折曲可能なヒンジ効果を有する開閉部材により開閉可能に接続したことを特徴とする化粧用コンパクト容器。

3. 考案の詳細な説明

本考案は化粧用コンパクト容器に係るものであつて、従来化粧用コンパクト容器の容器本体と蓋体との接続には大別して2種類の構成が用いられていた。その一つは容器本体と蓋体とを別個に成型し、この容器本体と蓋体との接続部である蝶番部に、割型のステンレスピンで形成した蝶番ピンを打込挿入して容器本体と蓋体とを開閉自在に接続する構成であり、他の一つは容器本体と蓋体とを一体に成型し、この容器本体と蓋体との接続部で

ある蝶番部を肉薄のヒンジ部とすることにより、容器本体と蓋体とを開閉自在に接続する構成である。前者にあっては蝶番ピンの打込挿入作業に多くの手数を要するとともにピン挿入部を肉厚とし、容器本体と蓋体との接続部が大きな容積を取ることになり化粧用コンパクト容器を大型化し、高価となる欠点を有している。また後者にあっては上記欠点を除去できるものの、容器本体と蓋体とが一体成型であるため、ポリプロピレン樹脂等のヒンジ効果を有する材質に使用材量が限定されるとともに容器本体と蓋体の色彩が同一となり、趣味感の低いものとなる欠点を有していた。

本考案は上述の如き欠点を除去したものであって、容器本体と、この容器本体の開口部を被覆する蓋体とを、別個に成型するとともにこの蓋体と容器本体とを、折曲可能なヒンジ効果を有する開閉部材により開閉可能に接続して成り、容器本体と蓋体とを折曲可能なヒンジ効果を有する開閉部材により開閉可能に接続したものであるから、蝶

番ピンの打込挿入作業を不要とし、多くの手数を要することがないとともに容器本体と蓋体との接続部の容積を小さくすることができ、化粧用コンパクト容器を小型化し、廉価な製造を可能とすることができる。また容器本体と蓋体とが別個に成型されているため、ヒンジ効果を持たせながら容器本体と蓋体に別個の材質、色彩を選択することができ、自由な色彩選択ができるから、趣味感の高い化粧用コンパクト容器を得ることができるものである。

以下本考案の一実施例を図面に於て説明すれば、(1)は容器本体で、アクリロニトリルースチレン樹脂、アクリロニトリルーブタジエンースチレン樹脂、ポリスチレン樹脂、アルミ、銅等の金属材等により成型し、合成樹脂材を用いる場合は射出成型により、金属を用いる場合は絞り加工、インサート成型等により成型を行う。またこの容器本体(1)の開口部(2)を被覆する蓋体(3)を、上記の如き材質を用いて、容器本体(1)とは別個に成

型するとともに容器本体(1)との関係に於ては材質を全く別個のものとしたり、同一材質を用いたり、成型目的に応じて任意の態様とすることができる。またこの蓋体(3)と容器本体(1)とを、多数回の折曲が可能なヒンジ効果を有する開閉部材(4)により開閉可能に接続する。この開閉部材(4)は、ヒンジ効果を有するナイロン樹脂、ポリプロピレン樹脂等を用いて成型し、中央の折曲部(5)を介して連結する連結片(6)(7)を設けるとともに容器本体(1)と蓋体(3)に、接着剤による接着、加熱、超音波等による溶着、嵌合等の方法で接続固定される連結突部(8)(9)を突出し、この連結突部(8)(9)を容器本体(1)と蓋体(3)の接続部分に連結固定することにより、容器本体(1)と蓋体(3)とを開閉自在に連結する。またこの連結部と反対側の容器本体(1)と蓋体(3)には凸状の係合部(11)(12)を形成している。

本考案は上述の如く、容器本体と、この容器本体の開口部を被覆する蓋体とを、別個に成型する

とともにこの蓋体と容器本体とを、折曲可能なヒンジ効果を有する開閉部材により、開閉可能に接続して成り、容器本体と蓋体とを折曲可能なヒンジ効果を有する開閉部材により、開閉可能に接続したものであるから、蝶番ピンの打込挿入作業を不要とし、多くの手数を要することがないとともに容器本体と蓋体との接続部の容積を小さくすることができ、化粧用コンパクト容器を小型化し、廉価な製造を可能とすることができる。また容器本体と蓋体とが別個に成型されているため、ヒンジ効果を持たせながら、容器本体と蓋体を別個の材質、色彩を選択することができ、趣味感の高い化粧用コンパクト容器を得ることができるものである。

#### 4. 図面の簡単な説明

図面は本考案の一実施例を示すもので、第1図は断面図、第2図は蓋体の開放状態を示す断面図である。

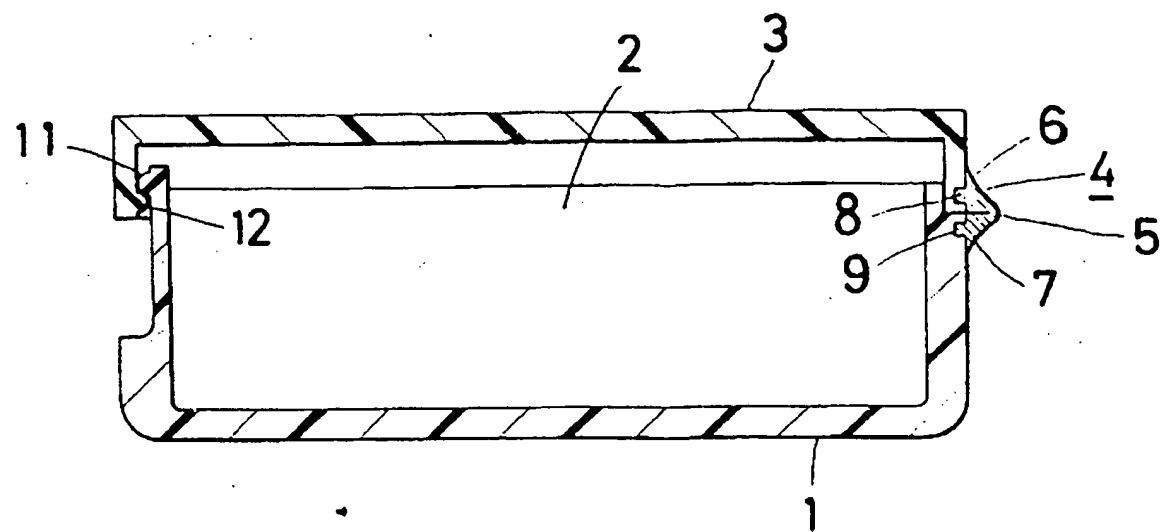
(1)・・・・・容器本体 (2)・・・・・開口部

(3) · · · · 蓋 体 (4) · · · 開閉部材

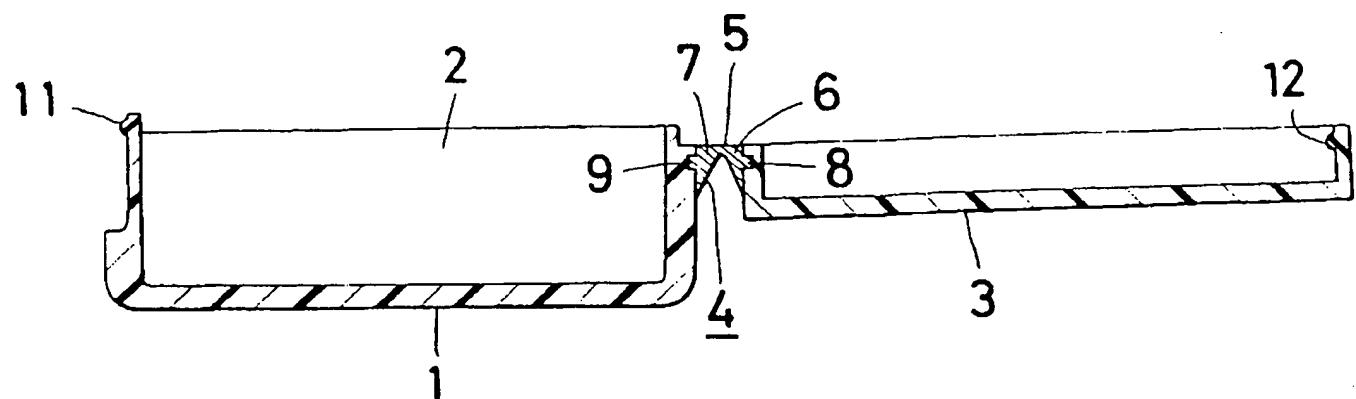
+6-

49

第 1 図



第 2 図



実開60-116906

辨理士 清水 慎